

令和4年度 留萌地区の研究活動

研究部長 天塩町立天塩小学校
校長 小 柳 豊

1 はじめに

留萌管内小中学校長会は、『和心一統』を指標として、子どもたちが心豊かにたくましく成長するために、よりよい学校経営を目指した研究と実践を積み重ねてきた。その推進に当たっては、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた方策や子どもが様々な社会変化を乗り越えて人生を切り拓くための資質・能力を的確に捉え、時代に応じた学校経営のビジョンを明確にし、校長としてのリーダーシップを発揮してきたところである。また、各学校における学校課題を共通課題とし、その解決に向けて組織的・実践的に取り組んできた。小学校、中学校の運営上での違いはあるが、学校経営者として様々な課題解決に向けた研究推進を今後も継続していく。



◇ 8月2日 管内校長会教育研究協議会 ◇

2 研究計画

(1) 研究主題と今年度の重点テーマ

主体的・協働的に学び、よりよい社会を創り出す力を育む小中学校教育の推進

～ 令和の日本型学校教育の構築を図る校長の在り方 ～

◇ 「令和の日本型学校教育」の構築に向けた学校組織マネジメントの推進

◇ 「学校経営」や「教育課程」、「指導・育成」、「危機管理」、「教育課題」の5つの領域

(2) 研究推進の重点

- ① 「令和の日本型学校教育」の構築に向けた方向性や2020年代を通して実現していくこれからの学校の在り方を探究し、学校経営における質の向上を図る具体的方策、新たな時代における校長の役割や組織マネジメント能力につながる研究推進に務めていく。
- ② 本年度の研究協議会は、新たな研究の方向性を確認するとともに、共通理解をもって研究推進の見通しを確かなものとし、研究主題に基づく初年度の研究内容について研究発表等を基に協議し、校長の在り方について研修を深める。研究推進については、各市町村校長会と連携を図りながら研究・研修活動を充実させ、その成果を管内校長会の財産として積み上げていく。
- ③ 令和5年度全連小提言及び道中提言に向けてプロジェクト委員会を組織し、研究推進に努める。
- ④ 研究集録「和心一統」第53号を発刊し、研究の成果と校長会の足跡を記録に残す。
- ⑤ 道小・道中研究部、各市町村研究部及び関係機関との連携の強化に努める。
- ⑥ 留萌管内研究団体連絡協議会の会長・事務局長として、各種研究会の連絡調整に努める。

3 研究活動の概要

(1) 第70回留萌管内小中学校長会教育研究協議会

- ① 期 日 令和4年8月2日(火)
- ② 会 場 小平町文化交流センター
- ③ 内 容 i) 研究発表 嶋本 敏幸(天塩町立天塩中学校)
ii) グループ協議
iii) 講評・助言 留萌教育局義務教育指導監 青木 順一 様

(2) 第56回留萌地区教育経営研究会

- ① 期 日 令和4年9月26日(月)
- ② 内 容 i) 情勢報告及び質疑応答
末原恵蔵(道小会計理事)・児嶋大輔(道小対策部)・河村克也(道中対策部副部長)
ii) 全体研修
講話「令和の日本型学校教育を実現する校長のリーダーシップ」
認定NPO法人ほっかいどう学推進フォーラム理事長 新保 元康 様
iii) グループ協議

(3) 第65回北海道小学校長会教育研究旭川大会への参加 ※ハイブリッド開催

- ① 大会主題 自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る
日本人の育成を目指す小学校教育の推進
- ② 期 日 令和4年9月9日(金)
- ③ 参加者 管内より12名の会員が参加

(4) 第73回全日本中学校長会研究協議会北海道(札幌)大会への参加 ※ハイブリッド開催

- ① 大会主題 新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく
日本人を育てる中学校教育
- ② 期 日 令和4年10月20日(木)21日(金)
- ③ 参加者 管内より3名の会員が参加

(5) 新任校長研修会

- ① 期 日 令和4年4月21日(木)
- ② 会 場 羽幌町中央公民館

3名の採用校長に対し、校長会の意義や新任校長への期待、校長として力を高める研修活動等について説明・協議を行った。

(6) プロジェクト委員会

- ① 令和5年度全連小東京大会第7分科会及び令和5年度道中小樽大会第1分科会での提言発表に向けて、プロジェクト委員会を組織して発表内容等の準備を進めている。

(7) 研究集録『和心一統』第53号の発行

(8) 全連小各種委員会調査への協力

4 おわりに

今年度も新型コロナの感染対策を講じながら、予定通り研究協議会を開催することができた。研究部の発表に加え、全会員がレポートを持ち寄り、交流するグループ協議を実施した。大変活発な協議が展開され、各校の課題解決に向けた具体策を策定していく意識を高揚させる重要な機会となった。

今後は、本年度の研究の成果と課題を研究集録にまとめ、各校へ環流していく予定である。令和の日本型学校教育の実現を目指し、学習指導要領を適切に実施していく中で、留萌管内の子どもたちに求められる資質・能力を育成していくため、管内組織一丸となって研究・研修活動を推進していきたいと考える。